

科目名	哲学の世界			ナンバリング	GEN111	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	久呉高之	担当教員					

授業の概要	哲学というものに触れ、哲学的なものの考え方を養うということは、一般に大学でのきわめて貴重な経験であり、大学生の特権であるとする。本講義では、古代から現代にわたる西洋哲学の基本的諸問題を見定める。哲学は世界を謎だらけにし、われわれが「当たり前」と思っていることを「神秘」に変えてしまう。哲学のこのワンダーランドで受講者が自分自身の「存在の意味」を見つめ直すことを目標とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「無い」「有る」にかかわる古代・中世の議論について、自分の言葉で説明できる。</li> <li>2 「主観と客観」という近代の根本的図式の意味と問題点について、自分の言葉で説明できる。</li> <li>3 デカルト以降の「心身問題」の意味と問題点について、自分の言葉で説明できる。</li> <li>4 「私」とは何かという問いの意味と問題点について、自分の言葉で説明できる。</li> <li>5 「時間の流れ」の意味と問題点について、自分の言葉で説明できる。</li> </ol>						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	哲学は、「根本的に考える」ところに成り立つので、予備知識はあまり必要としないが、哲学的問題に慣れるために、参考書で哲学的諸概念に触れておくことが望ましい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> <li>① パルメニデスの原理から「変化の否定」が導き出される筋道を説明できる。</li> <li>② 「神の存在証明」の二形態の筋道を説明できる。</li> <li>③ 「主観」「客観」の意味の歴史の変遷を説明できる。</li> <li>④ 心身問題に対する近世哲学の4タイプの解答を説明できる。</li> <li>⑤ 「私」についてのカントとサルトルの思想について説明できる。</li> <li>⑥ 根源的時間が「流れない時間」である理由のポイントを説明できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① パルメニデスの原理に対する批判的検討にしたい、「無い」の不思議さを実感できる。</li> <li>② 「神の存在証明」に対する批判的検討にしたい、「有る」の不思議さを実感できる。</li> <li>③ 心身問題に対する4タイプの解答の問題点を理解している。</li> <li>④ 「私」の二重構造の理解から、「私」の栄光と悲惨について理解している。</li> <li>⑤ 根源的時間が「とどまる今」であることから「時間の流れ」について説明できる。</li> </ol>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		60%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○	○	○	40%

課題、評価のフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中のプリントへの書き込みに無理解や誤解が見いだされた場合は、次の授業でそれを指摘する。</li> <li>・60点未満になりそうな受講者には、希望すればレポート提出の機会を与える。</li> </ul>
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	哲学の世界	常識的な「当たり前」が哲学的にはそうでないことを、いくつかの代表的な事例で解説する。	
	第2回	無いものは無い 1	古代ギリシャの哲学者パルメニデスの所説に関して、「無い」ということの不思議さを解説する。	
	第3回	無いものは無い 2	パルメニデスの結論を回避するためには「無い」の主観性を認めねばならないことを解説する。	
	第4回	神の存在証明	哲学史上の神の存在証明に対する批判的検討をふまえて、「有る」の不思議さについて解説する。	
	第5回	主観と客観 1	「無い」と「有る」との不思議さが示唆する、主観性と客観性の諸問題を、歴史的に跡づけつつ解説する。	
	第6回	主観と客観 2	いわゆる「客観性」が、哲学的に見定められる「主観性」に基づくことについて解説する。	
	第7回	主観と客観 3	「主観-客観」図式のもとで形成された近代の「自然支配」の思想について解説する。	
	第8回	心身問題 1	近世哲学において、精神と身体との関係の問題がどのように立てられ、答えられてきたか、その大筋を解説する。	
	第9回	心身問題 2	現代哲学が心身問題に対してどのような解答を与えてきたか、またその問題点について解説する。	
	第10回	「私」とは何か 1	近代の主な哲学者が「私」についていかなる議論を展開しているか、その大筋を解説する。	
	第11回	「私」とは何か 2	カントにおける「私」の二重化とサルトルにおける「対自存在」とについて、その概要を解説する。	
	第12回	流れない時間	日常的時間は「空間化」された時間であり、根源的時間は「流れない」時間であることを解説する。	
	第13回	幸福とは何か	幸福とは何かについての可能な答えの批判的検討をふまえて、真の幸福について考えるためのポイントを解説する。	
	第14回	日常に潜む謎	日常生活において「当たり前」のこととして顧みられることのない「謎」を謎として見定め、その問題性について解説する。	
	第15回	「自由」の可能性	哲学的な意味での「自由」の可能性について解説し、自由の問題の解決がいかに多くの困難を含むか説明する。	
		試験は実施しない。		
授業の進め方	配付プリントを読みつつ、ポイントとなる事項を書き込みながら進める。			
授業外学習の指示	次回授業のテーマについて参考書やインターネットであらかじめ調べ、「授業内容」にもとづき、予備知識を得ておくこと。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	配付プリントをテキストとする。
参考書	『岩波 哲学・思想事典』(岩波書店) 本体価格14,000円 ISBN4-00-080089-2
参考URLなど	
その他	